

ダム等管理フォローアップ
意見を受けての報告書修正対応表
【天ヶ瀬ダム】

平成28年 3月

淀川ダム統合管理事務所

【天ヶ瀬ダム】

1. 事業の概要

特になし

2. 洪水調節

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
2.3 洪水調節の状況 本編 P2-20～21 概要版P.26	・H25年9月の台風18号洪水は大規模であるものの計画規模の洪水だが、計画どおりの調節とならなかった要因はなにか。	・本台風は、予備放流を行う一定の基準に達していない状況だった。しかし、その事象を踏まえ適切に予備放流ができるよう流入量予測の精度向上を行っている。	—
2.3 洪水調節の状況 本編 P2-22～23 概要版P. 24～27	・低減率は台風洪水の場合37%であったり、前線性洪水の場合84%であったり、洪水によって変わっているが、洪水に対する見極めや低減率についてはどのように判断しているのか。	・平成24年8月の雨は、短時間で雨域が通過したため、結果的に低減率が大きくなるような洪水調節ができたと考えている。雨の予測は非常に難しいが、状況を見極めて適切に洪水調節を実施したい。	—

3. 利水補給

特になし

4. 堆砂

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
4.5 堆砂傾向及び堆砂対策の評価 本編 P4-16～17 概要版P. 43～44	・砂州は生物の観点からみると重要であるが、川の流れの観点からみると撤去が必要なものも存在するかもしれない。砂州の管理の考え方について説明してほしい。	・砂州は、河川管理の一環として、治水・利水・環境の三つの観点から総合的に評価し、個々の砂洲ごとに管理の方向性を定めている。今後も、適宜モニタリングし、適切に管理していく。	—

5. 水質

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
6.4 水質状況の整理 本編 P5-88～91 概要版P.58～59	・糞便性大腸菌群数のみが突出して上昇したケースが示されているが、このような現象は、この年以外や他のダムでも生じていたか。 ・原因の把握はできていないとのことだが、大腸菌が山から来た可能性のあり、人為由来のものとは限らないため、今後注目してほしい。	・平成26年9月以外の事象はない。このケースは、洪水発生の前日に琵琶湖で急増した糞便性大腸菌群数が、ダム湖に流下したと考えている。なお、琵琶湖において急増した原因については不明である。	—

6. 生物

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
6.4 生物の生息・ 生育状況の変 化の検証 本編 P6-156～158 概要版P.73	<ul style="list-style-type: none"> 上流ではウツセミカジカ、スジシマドジョウ大型種といった重要な種が確認されているのでグラフにそれらも追加すること。 	<p>【委員会意見により修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> ウツセミカジカを追加、分析。なお、スジシマドジョウ大型種はダム湖内のみの確認であるため、分析対象としていない。 (※ダム上下流における砂礫底利用種の変化を確認) 	—
6.3 ダム湖及びそ の周辺の環境 の把握 本編 P6-79～83	<ul style="list-style-type: none"> スジシマドジョウ大型種、メダカ南日本集団などについては、最近種名が変更されているので確認すること。 	<p>【委員会意見により修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各生物リストについて、準拠したリスト名を明記する。 (※『ダム等管理フォローアップ定期報告書作成の手引き[平成26年度版]』に従い、最新となる平成24年度の河川水辺の国勢調査実施年の生物リストに準拠して整理) 	—
6.4 生物の生息・ 生育状況の変 化の検証 本編 P.6-190～193 概要版P.101	<ul style="list-style-type: none"> チャネルキャットフィッシュが確認されているが、今後の動向には注視すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も生息状況を把握する (※平成24年に下流河川で1例確認) 	—
6.4 生物の生息・ 生育状況の変 化の検証 本編 P.6-194～196 概要版P.101	<ul style="list-style-type: none"> カワヒバリガイの対策は考えているのか。 カワヒバリガイの生息は粗粒化と関連しているということだが、粗粒化した環境を改善することも考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、対策は実施していない。 過去に水道、発電に支障をきたす事例もあるため、注視して調査を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 下流河床の粗粒化への対策については、今後、淀川水系土砂管理委員会等で検討を行っていく。

7. 水源地域動態

特になし